令和８年度　第５号
令和８年９月１日発行
目黒区立目黒南中学校

目黒南中だより

【教育目標】　自立　協創　信頼

目黒南中学校ホームページ

再出発、そして実りの時期へ

校長　金子弘樹

「酷暑日（最高気温が40度以上の日）」「激暑」「危険な暑さ」などの表現が多く聞かれた今年の夏。地域によっては厳しい暑さの連日ではありましたが、夏休み中には、部活動や地域のクラブ活動、習い事に励んだ人、家族との時間を過ごした人、地域の行事や自然豊かな環境で体験活動に参加した人、自己調整や自己選択など学習に取り組んだ人など、それぞれに充実した時間を過ごしたことと思います。暑い熱い夏は続いていますが、長い夏休みは終わり今日からまた学校生活が始まります。この夏に体験したことや学んだことを９月からの学校生活に生かしてください。

９月は再出発の月とも言われます。進級や入学の４月、新たな環境、新たな思いで始まった学校生活。学習や生徒会活動、学校行事、部活動に頑張った４月から７月。チームづくりや集団づくりに取り組んだ前期前半。そして夏休みを経て、今日からまた新たな思いで学校生活をスタートさせることができます。

再出発する上で大切なことがあります。まず、現実を受け入れること。４月からの自分やこの夏の自分を振り返り、自己理解に努めることです。その中に喜びや笑顔につながる体験、達成感や充実感を味わった経験があったと思える人が多いと思いますが、思い通りにいかなかったことや失敗、挫折を感じた人もいるでしょう。再出発は現実を受け入れ、今何が出来るかを考えることから始まります。全国高校野球選手権大会で優勝した智弁和歌山高校は昨秋県大会の準々決勝で敗戦。その後ミーティングを繰り返して意思疎通を徹底し、「日本一、仲間を生かすチーム」を目指した練習や日常生活の取組が今夏の大きな喜びにつながったと言われています。

次に小さな努力を積み重ねること。「大きな成果は、小さな努力の積み重ねから生まれる」と言われます。メジャーリーグで活躍する大谷選手は肘の手術や膝の治療を繰り返しながらも「できることを積み重ねる」を心掛けてリハビリに取り組み復帰を繰り返しています。

そして、再出発に対して覚悟すること。すぐに結果が出ることは少ないと思いますし、思い通りにいくことばかりではないでしょう。「失敗と書いて成長と読む」という人もいますが、失敗してもまた一歩を踏み出す心の耐力を鍛えながら、挑戦し続ける勇気をもってスモールステップを重ねていきましょう。



再出発、自己調整によって一人一人の実りへ。